

平成 31 年 3 月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階の計で 230 万トンとなっています。

(詳しくはこちら)

○「平成 30 産米の相対取引価格・数量（平成 31 年 3 月）（速報）」

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/attach/pdf/aitaikakaku-160.pdf>

○「平成 30 年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成 31 年 3 月末現在）（速報）」

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/attach/pdf/aitaikakaku-166.pdf>

○「民間在庫の推移（速報）」

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/attach/pdf/aitaikakaku-165.pdf>

本資料及び過去の調査結果（相対取引価格）は、当省ホームページからご覧になれます。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

上記情報も含め、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を毎月上旬に公表しています。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

平成 30 年 10 月号から見所をまとめた簡易版の作成を始めましたので、併せてご利用ください。

★ 今月のマンレポ簡易版 ★

最新号のマンスリーレポートの見所を紹介いたします。

(マンレポ簡易版はこちらから→)

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

<定期的な掲載情報>

「中食・外食事業者の米の仕入状況」

平成 31 年 1 月から 3 月までの期間の米の仕入状況について、日本惣菜協会、日本べんとう振興協会、日本炊飯協会、日本弁当サービス協会、日本フードサービス協会の会員企業（合計 418 社）に御協力を頂き、アンケート調査を実施いたしました（回答企業数は合計 124 社）。

・仕入数量の動向（平成 31 年 1 月～3 月）（前年からの変動別企業数割合）

平成31年1月から3月までの仕入数量は対前年同期比で99.1%となり、前回調査から大きな変動はみられませんでした（前回調査した平成30年10月から12月までの仕入数量の対前年同期比は99.3%）。

・仕入価格の動向（平成31年1月）（前年からの変動別企業数割合）

前年同月と比べた仕入価格の動向について、今回調査では、「上昇した」との回答割合が前回調査よりも減少し、また、「前年と同程度」との回答割合が前回調査よりも増加しました（今回調査は平成31年1月時点、前回調査は平成30年10月時点の価格が対象）。

<当データを利用する上での留意事項>

○ご協力いただいた企業は東京、大阪圏が多いため、今回の調査結果が必ずしも全国の趨勢を示したものではありません。

★ お米の消費拡大情報サイト「やっぱりごはんでしょ！」（更新情報） ★

お米に関する様々な魅力を紹介するサイト「やっぱりごはんでしょ！」では、新たなコンテンツ・情報を随時更新しております。

また、掲載内容はFacebook/Twitterでも紹介しておりますので是非御覧ください。

（「やっぱりごはんでしょ！」へのアクセス→）

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>

（Facebookへのアクセス→）

<https://www.facebook.com/maffgohan> （外部リンク）

（Twitterへのアクセス→）

https://twitter.com/MAFF_GOHAN （外部リンク）

<最近の掲載情報>

○甘酒餡入り餅生菓子「トローリ甘酒」を新発売

有限会社太成食品では、秋田県産あきたこまちで餅と甘酒を作った餅生菓子を2019年3月から新発売！あきたこまち100%ならではのもちもちの食感と、濃厚で、砂糖不使用の自然な甘さの甘酒餡が、絶妙にマッチした新食感和菓子をお是非御賞味ください！

このほかにも、もち麦ごはんのレシピや米粉メニュー、ごはん健康になれる情報等の関連サイトも掲載しております。

これからも、ごはんをもっと好きになる、もっと食べたいような情報をお届けしますので、是

非御覧いただき、また周りの方にも御紹介ください。

★ 令和元年度 「飼料用米多収日本一」コンテストの開催について ★

農林水産省と（一社）日本飼料用米振興協会では、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する「飼料用米多収日本一」コンテストを平成28年度から開催しており、この度、令和元年度のコンテストに向け参加の募集を開始しました。

参加条件は多収品種をおおむね1ha以上生産していること。参加者の方には、全国はもとより地域内や同じ品種内での単収順位等の結果をお返りする予定です。

募集期間は令和元年5月7日から7月1日までとなっています。応募にあたっての詳細は、各ブロック毎に設置しているブロック事務局にご連絡をお願いします。お誘いあわせの上生産者の皆様の参加をお待ちしています。

（詳しくはこちらから）

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryouqa.html>

★「農産物（米・小麦・精製糖等）の物流合理化に関する勉強会」を行っています★

農林水産省政策統括官所管品目について、関係団体及びその会員企業とともに産地や流通業者等の物流に係る課題を把握し、物流合理化・コスト低減に資する取組について理解を深めるために勉強会を行っています。

第1回で農林水産省より物流の現状、物流合理化の各種施策について情報提供を行い、第2回では大手物流会社に物流事業者からみた現状報告と農産物物流の取組、加工食品メーカーに加工食品の共同輸送の取組について講演していただきました。その後品目ごとの勉強会を進めており、第3回では米の産地、集荷・卸の各段階における物流の現状と課題や、特にフレコンやパレット輸送等について講演していただきました。第4回以降は砂糖や製粉をテーマにして進めていく予定です。

農産物、特に米の物流に関しまして、課題や解決策等について何か御意見がありましたら下記のメールアドレスまでお送りください。皆様からの御意見お待ちしております。

○お問い合わせ先

農林水産省政策統括官付農産企画課企画班

E-mail : butsuryu_benkyoukai@maff.go.jp

★ 日本製パックごはんの拡販に向けて ★

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」は、コメ輸出拡大に重点的に取り組む「輸出ターゲット国」におけるプロモーション等、販売拡大に向けた取組を推進しています。

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（東京都中央区

<http://zenbeiyu.com/jp/>) と株式会社中国市場戦略研究所(東京都中央区 www.cm-rc.com)は2月21日に中国で子育て母親層に影響力のある中国人ブロガーを日本のパックごはんの工場に招待し、工場見学やパックご飯を紹介する試食体験会を開催しました。体験が終わった後に SNS 等で発信してもらいましたが、今回招待した中国人ブロガーのうち1人の SNS を御紹介いたします。

(中国版 Twitter の weibo (ウェイボー) に投稿された動画はこちらから)

→

https://www.weibo.com/1986481745/Hksqyd8HZ?from=page_1005051986481745_profile&wvr=6&mod=weibotime&type=comment (外部リンク)

<発信例>

- ・「パックごはんを開けるとご飯のいい匂いがする。パックごはんにおかずをのせたら食べることができて、すごく便利だね。」
- ・「工場で作っているパックごはんは品質管理を徹底しているから、原料からパッケージまで100%安心安全だよ。これがあればあつという間に子どもにご飯を作ってあげられるの。」
- ・「パックごはんがかわいいおにぎりやお寿司にしたら子どもがそれを大好きになって、パックごはんのおかげで、料理苦手な私でも、ちゃんと色々な料理ができるようになったよ。」
- ・「日本産米と日本の水でできているから、ふっくらとした食感が美味しいし、早くて便利！特に子どもがいる家庭にぴったり！」

<発信に対して寄せられたコメント>

- ・「一人で子育てをされていてなかなかご飯を食べる時間がない。これが欲しい！」
- ・「本当に美味しそう！寿司が大好きだから勉強になった！」
- ・「便利でスピーディ！何より安心して食べられることが一番！」
- ・「ママたちの救世主！みんなにおすすめしたい！」
- ・「美味しそう！私はまだ日本のお米食べたことないから、食べてみたいな。」

実際にこのプロモーションを通じた SNS の閲覧数は約1千万人(5月8日時点)、個人バイヤーによる販売数は550個を超えました。このように試食体験会を通じて中国の子育て母親層に日本製パックごはんの食味や品質の良さについて発信することで認知度を向上させ、実購入につなげていくという取組を進めています。

引き続きコメ海外市場拡大戦略プロジェクトへ参加される事業者及び産地の募集を行っていますので、御関心をお持ちの皆様は、ぜひ参加を御検討ください。

本プロジェクトに関するご質問がございましたら、担当までお気軽にお電話下さい。

担当：政策統括官付農産企画課米穀輸出企画班

電話番号：03-3502-8111(代表)、03-6738-6069(直通)

F A X : 03-6738-8976

★「米に関するメールマガジン」のアンケートを実施しています★

読者の皆さまにより有益な情報配信ができるよう、「米に関するメールマガジン」のアンケートを実施しています。今後、米に関するメールマガジンで取り上げて欲しい内容、メールマガジンに対するご意見ご感想等を募集しておりますので、宜しくお願い致します。

(回答はこちらから→)

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/seisaku_tokatu/kikaku/160815.html

【編集後記】「10連休」

大型連休が終わり、新しい令和の時代になりましたね。連休は九州の実家に帰りました。家族と過ごす時間はとても幸せでした。家族と離れて暮らすようになって改めて家族の大事さと一緒にいられる時間の温かさを感じます。祖父母の家にも行きました。最近あまり体調が優れない祖父が、私がお米担当なので、米についてたくさん語ってくれました。「牛若丸」と名付けて海外に輸出すれば売れる！と米の名前まで決めていたのには驚きましたが、色々なことを教えてくれて嬉しいです。連休明けはなかなか調子が優れない方も多いと思います。私もまさにそうなので、ゆっくりペースを取り戻していきたいです。

【米に関するメールマガジン】

発行：農林水産省政策統括官付農産企画課